

## 夏休みの自由研究

～今年は歴史について調べてみませんか？～

夏休みの自由研究で疑問に思うことがあれば、8月の水曜日は当館にお越しください。当館歴史解説員が、歴史の質問引き受けます。お申し込みは不要です。

10月下旬からは県小学校社会科作品コンクールの優秀作品も展示予定。こちらもご期待ください。

【受付日時】8月の毎週水曜日／9時～17時

【料 金】入館料／小・中学生150円

※受付の際、質問の旨をお伝えください。

## 郷土の偉人パネル展示

今年も、維新ふるさと館受付前のスペースに、鹿児島ゆかりの人物紹介パネルを設置しています。「黒田清輝」、「藤島武二」など6人の洋画家や音楽家などの鹿児島出身の明治期の芸術家を紹介しています。

また、昨年紹介した8人（岩永三五郎、桐野利秋など）の紹介も、常設展示前のスペースに展示しておりますので、ご来館の際は是非ご覧ください。



## 温故地新

ふる故きを たゞ 溫ね、地元を新たに。

### ■維新ふるさと館 歴史講座① 開講

歴史講座「電信の父にして、近代外交の祖～寺島宗則～」を、6月24日(金)・25日(土)に実施しました。総勢103名の受講者にお越しいただき、好評のうちに幕を閉じました。

島津斉彬の集成館事業に携わった他、薩摩藩英国留学生を引率し、医師・通訳・外交で活躍した人物にスポットをあて、肥後特別顧問の面目躍如たる解説で、参加者は皆熱心に聞き入っていました。

「阿久根出身の偉人だったことがよくわかった」「西郷・大久保だけでなく、外交で活躍した人物であったことを



再認識した」といった感想が寄せられ、大変ご好評をいただきました。

次回は、11月に日本の近代化を牽

引した薩摩藩(島津斉彬)に関する講座を開催する予定です。皆様のご参加をお待ちしております。

### ■「職場体験」(鹿児島市立吉野中学校)

5月10日(火)から12日(木)の3日間、鹿児島市立吉野中学校の生徒さんが職場体験に来てくださいました。マナー講習や展示の説明など意欲的に



取り組んでいました!施設の特徴をいかしたイベントを主催側の立場になって企画し、模擬会議でそれぞれプレゼンテーションをお願いしたところ、刺激になるような自由な発想と内容で楽しい会議になりました。

中学3年生のお2人は今年受験生。頑張ってほしいなと思います。また落ち着いたら遊びにきてくださいね。

## 西郷や明治維新関連の書籍が多数揃っています!

### 日本史レブレット071 「西郷隆盛」 明治維新の先覚者

- 著者：徳永和喜(西郷南洲顕彰館館長)
- 価格：880円(税込)



西郷の残した書翰や当時の記録をもとに、激動の幕末・維新期に薩摩藩、そして日本をリードした西郷の姿を描いた最新刊書籍。今なお多くの人々に慕われている西郷隆盛とは、どのような人物だったのだろうか。本書をとおして、改めて“西郷さん”的人物像を描き直してみませんか。

維新ふるさとショップには、西郷や明治維新関係の書籍が36種類ほど揃っています。この機会に維新ふるさとショップ書籍コーナーまで足を運んでみてはいかがでしょうか。

明治維新を分かりやすく、楽しく

# 維新

ISHIN  
2022 SUMMER  
維新ふるさと館情報紙/No.41

生涯を研究にささげた  
化学の先覚者  
～生きた学び方を実践～



(鹿児島市金生町)



8月21日は「女子大生の日」です。  
日本で初めて女性が大学入学を正式に許可されたことに由来します。その1人が、中町ベルク(山形屋横)に銅像が建つ丹下梅子です。

梅子は、明治6年(1873)に金生町に生まれました。幼いころの目が右目を失明したハンディを苦にせず、県立尋常師範学校を卒業すると、名山尋常小学校の教員となりました。ここから梅子の才能が發揮されていきます。

28歳で日本女子大校に入学し、卒業後も恩師の指導を受け、化学中等教員検定試験で女性初の合格者となりました。このことで女子への大学門戸開放の声が高まり、大正2年(1913)、40歳の時、東北帝国大学化学科への入学が許可され、日本女性初の大学生となりました。

大学院修了後も探究意欲はとどまるることを知らず、学びの場をアメリカに移し、4つの大学で9年間、栄養学と生物化学等の研究に取り組み、博士号を取得しました。

帰国後は、日本女子大校の教授に就任する一方、

理化学研究所にも入所し、精力的に研究に励み、東京帝国大学から農学博士号が授与されました。

学問への情熱を燃やし続けた梅子は、78歳で大学を退官するまで研究を続け、昭和30年(1955)東京の親戚宅で81歳の生涯を閉じました。

日本の女子教育の先駆者となった梅子は、受け身となって知識を詰め込むだけの学びではなく、学んだ理論を日常生活に応用化する「生きた学び方」を、50年を超える研究人生を通して実践しました。この考えは、島津斉彬が学問の本義を説いた訓論と合致しています。梅子が齊彬の訓論を知っていたかは分かりませんが、彼女の研究の姿勢は、常に「一般家庭にも効果があるように」という念願に基づいており、アメリカ留学でこの考え方の正しさに自信をもったといいます。

生誕地に近いアーケードの下で、角帽をかぶり、アカデミックガウンを羽織って前を見つめる姿は、外国語に堪能でありながら普段の会話は鹿児島弁、からいも飴が好きだったという、純粋な梅子の飽くなき探究の心を感じることができます。

(文・佐々木幸男 維新ふるさと館副館長兼歴史解説員)



## ■イベント 薩摩偉人 維新伝心隊による「維新演劇シアター」

史実に創作を織り交ぜた現代風歴史物語を、役者扮する鹿児島ゆかりの偉人たちが、身近にわかりやすく語る「維新演劇シアター」。時空を超えて明治維新を楽しく体感できる内容で、子どもから大人まで楽しめます。

この夏は小松帯刀さんが登場!

さて、どんな物語がはじまるのでしょうか?

### 夏の上演スケジュール

**【小松帯刀の～家老はつらいよ～】**  
8月14日(日)・21日(日)・28日(日)

**〈上演時間〉** 上演日の12:30～13:00(30分間)

**〈会 場〉** 維新ふるさと館 地階「維新体感ホール」

**〈観 覧 料〉** 無料(入館料のみ)



## ■イベント かごしま折々あそび展 第1回企画展を開催します

鹿児島の歴史や文化の魅力をおりがみで表現した作品や、むかしあそびを描いた絵巻とあそび道具、かごしま弁を使った言葉遊びの作品などを展示します。

期間中館内で、「おりがみあそび」「むかしあそび」「ことばあそび」の体験会も下記の日程で開催します。



〈期 間〉 8月6日(土)～9月19日(月・祝)  
〈体験日時〉 期間中の毎週日曜日 13:00～16:00(事前申込不要・随時対応)  
〈場 所〉 維新ふるさと館1階 あそんでみやんせコーナー

|     |                        |      |                        |      |                          |      |                     |
|-----|------------------------|------|------------------------|------|--------------------------|------|---------------------|
| 8/7 | むかしあそび体験<br>(紙とんぼ・ゴム銃) | 8/14 | ことばあそび体験<br>(折り本作り)    | 8/21 | おりがみあそび体験<br>(イルカ)       | 8/28 | ことばあそび体験<br>(折り本作り) |
| 9/4 | ことばあそび体験<br>(折り本作り)    | 9/11 | むかしあそび体験<br>(紙とんぼ・ゴム銃) | 9/18 | おりがみあそび体験<br>(妙円寺参り、島津兜) |      |                     |



## ■イベント 第15回 西郷隆盛をしのぶ 維新ふるさと館書道展 開催

西郷隆盛は書をこよなく愛した人であることはよく世に知られています。今年で15回目を迎えるこの書道展は、広く市民から募集した西郷関連の書道作品を展示して、郷土の偉人西郷隆盛の人徳と偉業をしのぶとともに、郷土への関心を高めることを目的としています。

今年も、西郷が没した9月24日をはさむ30日間、維新ふるさと館で開催します。

〈展示日程〉 9月23日(金・祝)～10月22日(土)  
〈会 場〉 維新ふるさと館  
〈募集要項〉 当館HPに掲載



## 鹿児島市立川上小学校の出前授業の取材にいってきました!

日本で8つのエリア、23の構成資産からなる  
「明治日本の産業革命遺産」

### 関吉の疎水溝



史跡 関吉の疎水溝

せき よし そ すい こう  
せきよしのそすいこう

鎖国状態だった日本が西洋先進諸国から積極的に技術導入し、わずか50年ほどで飛躍的な経済的発展を成し遂げた、歴史上重要な、優れた科学技術の集合体であることなどが評価され、平成27年世界遺産に登録されました。そのひとつとして鹿児島エリアでは旧集成館・寺山炭窯跡・関吉の疎水溝が登録されています。

幕末から明治維新时期の薩摩藩の取り組みや先人の想いに理解を深めようと「近代化産業遺産出前授業」が各小中学校で行われています。まだ梅雨の最中の6月、鹿児島市立川上小学校4年生の皆さんのが授業の様子を取材にいってきました。

「関吉の疎水溝」は、川上小学校から歩いて行ける距離にあります。その場所までの道のりは田植えが始まっている田んぼの横道を通って、アジサイの花が咲く坂道を登って行ったところ、関吉の疎水溝取水口にたどり着き、史跡を実際に観察しながら校外学習がはじまりました。

講師は維新ふるさと館の副館長であり歴史解説員である佐々木幸男先生です。授業の前に4年生の皆さんには先生の事前の講義を受けています。昨年までこの川上小学校に勤められていたこともありとても和やかな様子でした。

明治維新的その時代に、川上小学校の近所であるこの場所が選ばれ、その地盤や地形の条件を最大限に生かし、工場の動力として水の力を使うまでのながれを4年生の皆さんにもわかるように丁寧に講義されていました。

引率されていた川上小学校教諭の濱島道代先生は、「こんなに近くにあるけれど初めて来たという子どもたちも多いです。もしかしたら親御さん世代も来たことない方がいらっしゃるかもしれません。でもこうやって詳しい方に優しい言葉で説明していただく機会はとても貴重な時間でした」と。子どもたちは「楽しかったけどちょっと難しかった」と笑ってこたえてくれましたが、この場所で昔の人たちは世界に認められるような凄いことしたんだなあってちょっと誇らしく感じたのではないかでしょうか。



〒892-0873 鹿児島県鹿児島市下田町1222  
交通アクセス:鹿児島中央駅から車で約25分